

2018年本屋大賞

『かがみの孤城』

辻村深月／著 ポプラ社
2017年5月刊

中学生のころは学校に行けずに部屋に閉じこもりがちに。ある日、こころの部屋にある大きな姿見が光り輝いていた。鏡の中に吸い込まれ目を覚ますと立派な門構えのお城とこころと似た境遇の6人の少年少女が集められていた。

そこに狼の面をつけた女の子が現れて「この城の中にある鍵を見つけた者はどんな願いも叶えることができる。」と告げる。こころは、狼の面の少女の言葉に戸惑いながらも、鏡の中の世界を冒険する。

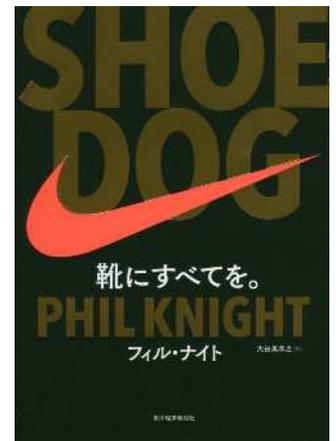


『SHOE DOG 靴にすべてを。』

ビジネス書大賞2018

フィル・ナイト／著 大田黒奉之／訳
東洋経済新報社 2017年11月刊

スポーツブランド「ナイキ」の誕生に日本企業が関わっていたことはご存知だろうか。ナイキ創業経営者フィル・ナイトだから書ける物語。これまでの軌跡を振り返る。



第53回大宅壮一ノンフィクション賞

『嫌われた監督 落合博満は中日をどう変えたのか』

鈴木忠平／著 文藝春秋
2021年9月刊

中日ドラゴンズを日本一に導いた監督落合博満。指揮官としてどのようにチームを変革したのか12人の男たちの目を通して綴られる。ファンでなくてもあの時、あの場面の落合博満の采配や葛藤を堪能できる1冊。



2024年～2025年 主な受賞作・候補作

2025年本屋大賞ノミネート作 ※大賞作品は4月9日に発表予定

	書名	著者名等	出版者
ノ ミ ネ ー ト	アルプス席の母	早見和真／著	小学館
	カフネ	阿部暁子／著	講談社
	禁忌の子	山口未桜／著	東京創元社
	恋とか愛とかやさしさなら	一穂ミチ／著	小学館
	小説	野崎まど／著	講談社
	死んだ山田と教室	金子玲介／著	講談社
	spring	恩田陸／著	筑摩書房
	生殖記	朝井リョウ／著	小学館
	成瀬は信じた道をいく	宮島未奈／著	新潮社
	人魚が逃げた	青山美智子／著	PHP研究所

第171回 芥川龍之介賞（2024年上半期）

	書名	著者名等	出版者
受賞	サンショウウオの四十九日	朝比奈秋／著	新潮社
	バリ山行	松永K三蔵／著	講談社
候補	転の声	尾崎世界観／著	文藝春秋
	海岸通り	坂崎かおる／著	文藝春秋
	いなくなることにならないで	向坂くじら／著	河出書房新社

第172回 芥川龍之介賞（2024年下半期）

	書名	著者名等	出版者
受賞	DTOPIA(デートピア)	安堂ホセ／著	河出書房新社
	ゲーテはすべてを言った	鈴木結生／著	朝日新聞出版
候補	ダンス	竹中優子／著	新潮社
	字滑り	永方佑樹／著	雑誌『文学界』2024年10月号
	二十四五	乗代雄介／著	講談社

第171回 直木三十五賞（2024年上半期）

	書名	著者名等	出版者
受賞	ツミデミック	一穂ミチ／著	光文社
候補	あいにくあんなのためじゃない	柚木麻子／著	新潮社
	地雷グリコ	青崎有吾／著	KADOKAWA
	令和元年の人生ゲーム	麻布競馬場／著	文藝春秋
	われは熊楠	岩井圭也／著	文藝春秋

第172回 直木三十五賞（2024年下半期）

	書名	著者名等	出版者
受賞	藍を継ぐ海	伊与原新／著	新潮社
候補	よむよむかたる	朝倉かすみ／著	文藝春秋
	飽くなき地景	荻堂顕／著	KADOKAWA
	秘色の契り	木下昌輝／著	徳間書店
	虚の伽藍	月村了衛／著	新潮社

第55回 大宅壮一ノンフィクション賞（2024年）

	書名	著者名等	出版者
受賞	鬼の筆	春日太一／著	文藝春秋
候補	家で死ぬということ	石川結貴／著	文藝春秋
	ウクライナ・ダイアリー	古川英治／著	KADOKAWA
	怪物に出会った日	森合正範／著	講談社

編集・発行：さいたま市立与野図書館（令和7年3月）

さいたま市中央区下落合5-11-11 TEL048-853-7816 FAX048-857-1946